

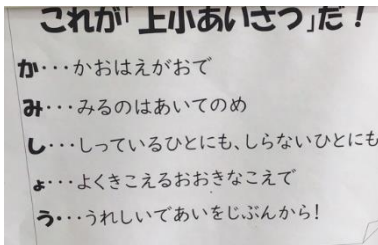
大分教育事務所訪問②-67 (計140)

大分市立上戸次小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「生きる力を身につけ 夢をえがくことのできる子どもの育成」を達成するために、教職員の取組状況や子ども達の達成状況、改善方策を明確に定めています。

小規模特認校の強みを活かすために、技能系教科においては教科担任制を取り入れたり、縦割り班活動や一輪車、さらには相撲や神楽、もちつき大会等は地域と協働して行う等、41名の子ども達のそれぞれの良さを引き出す取り組みを行っています。



今後は、本校が育成を目指す(教科横断的な)資質・能力を、協議の際に話題となった「表現力(コミュニケーション能力)」と定めてみてはいかがでしょうか。このような上位目標を決めることで、行事などを企画する

際に、目的の共通理解が行われやすくなり、実際の方法や手段は担当者に任せることができます。そのことで、担当者の当事者意識が高まり、それぞれの担当者による協働的な新たなアイデア生まれ、より効果的、効率的な実践へとつながるとが期待されます。

参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp47—53 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 ア 言語能力

授業から学ぶ

1年生国語は2名でしたが堂々と音読をする姿が印象的でした。2年生国語の俳句では、沢山をつくる子どもに刺激され皆が意欲的に取り組んでいました。このように、良い作品を1つ創るような指導よりも、何を書いても良い、どんどん創ってみようというような雰囲気をつくることで、自分らしさをだすことや俳句の良さに気づかせる授業は見事でした。また、6年生道徳ではホワイトボードを使いそれぞれの考えを伝え合う授業は、相手の良さ認め価値を発見するような温かい空気を感じました。

今後は指導案を作成する際、「振り返り」を教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記してみてはいかがでしょうか。教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで授業改善が推進されると思いました。



NO.621 2021年12月 大分市立上戸次小学校

質問力

質問をするのはわからないからではない。もっと知りたい、自分の考えを確認したいという意欲があるから。



NO.620 2021年12月 大分市立上戸次小学校

端的に伝える

自分の思いを言う時には、ダラダラと言わない。相手の心に刺さるように端的に伝える。



NO.622 2021年12月 大分市立上戸次小学校

世界にひとつ

冬のイメージを膨らませ、17文字に自分の思いを伝える。それぞれの「らしさ」が表れる。